



ごあいさつ

春分の候、市民の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

大津市にゆかりのある紫式部を題材にした大河ドラマ「光る君へ」の余韻も冷めやらぬ中、いよいよ今年の秋には、滋賀県において、わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025が開催され、大津市においては、県内で最も多い、19競技・22種目が実施されます。大会の成功をお祈りするとともに、本大会が市民の皆様様のスポーツに親しむ機会を増やし、健康増進に寄与することを願っております。

さて、2月19日から始まりました2月通常会議では、「夢があふれるまち大津」を実現する予算としての令和7年度当初予算案をはじめ、計90件以上の議案が提出され、慎重に審議を行いました。

令和7年度当初予算案は、これまで大津市総合計画第2期実行計画において重点的に実施してきたリーディングプロジェクト事業について、その事業効果を最大化させるため、継続的あるいは発展的に取り組むこととして編成されており、総合計画第3期実行計画の初年度として、重点プロジェクト事業を着実に実現することを目指しています。

また、物価や人件費の上昇に伴い、財政状況も厳しさを増す中ではあります。我が会派がこれまで重ねて要望してきた本市が直面している喫緊の課題に対する経費についても、適切に配分されているものであります。会派としてもこれらの課題の解決に向けて全力で取り組んでまいります。

今後とも、私たち湖誠会は、市民や事業者の皆様が安心して住み続けられる大津市を目指し、皆様とともに歩む市政を推進してまいります。

会派所属議員に對しまして、さらなるご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

幹事長 竹内 照夫

右より



- 川口 正徳 議員
- 福永 英晶 議員
- 寺田 英幸 議員
- 竹内 基二 議員
- 竹内 照夫 議員
- 葉月 陽 議員
- 草野 聖地 議員

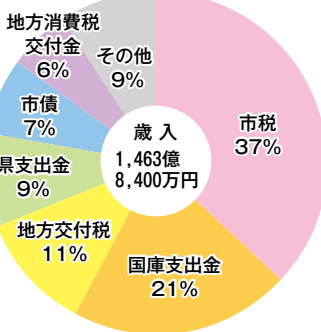
# 令和7年度予算が決まりました

## 令和7(2025)年度各会計予算額

一般会計	(5.8%)
<b>1,463億8,400万円</b>	
特別会計(8会計)	(1.5%)
<b>778億6,393万円</b>	
企業会計(3会計)	(△1.0%)
<b>351億4,011万円</b>	
<b>合計</b>	<b>(3.5%)</b>
<b>2,593億8,803万円</b>	

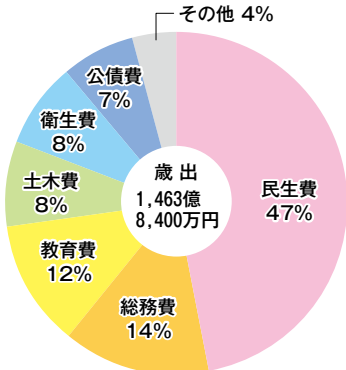
※各会計の千円単位を四捨五入し万円単位としています  
※企業会計の予算額は、収益的支出と資本的支出の合計

### 歳入解説



（市税の主な内容）  
 ・個人市民税は定額減税の終了による影響や、個人所得・納税義務者数の増加等による増収を見込み、法人市民税については原材料費や人件費等の高騰による減収要素があるものの、前年度からの好調な企業業績による増収の見込み。固定資産税についても、土地については新築マンション、新築住宅の建設に伴う住宅用地特例適用による減収要素があるものの、家屋については令和7年度は経年減価の影響を受けないことから増収の見込み。  
 （全体）  
 ・市税収入や地方消費税交付金の堅調な伸びを反映し、増収の見込み。

## 一般会計歳出予算額(目的別)



### 歳出解説

・介護や障害福祉サービスの利用の増加のほか、こども未来戦略に基づく児童手当の拡充や、人件費や物価の上昇に伴う公定価格の見直しなどによる扶助費の増加、人事院勧告を反映した職員の人件費の増加等を見込んだ上で、学校施設の長寿命化改良事業を引き続き強力に推進するとともに、公共施設の老朽化対策や国が進める自治体情報システムの標準化に要する経費などを計上しており、前年度を上回る歳出規模となる。

○令和7年度当初予算が市議会2月通常会議において可決されました。  
 令和7年度当初予算は、大津市総合計画の基本構想に掲げる3つの基本方針に沿って編成されるとともに、令和7年度は総合計画第3期実行計画の初年度にあたることから、教育環境の充実など、これまでの第2期計画のリーディングプロジェクトとして重点的に実施してきた諸事業について、その事業効果を最大化させるため、継続的に実施できるような編成されました。その他、わたSHIGA輝く国スポ・障スポ大会の開催経費や保育所等の待機児童対策経費、また、防災対策経費や小中学生の不登校対策など、喫緊の課題に対応するために必要となる経費を盛り込んだ予算として編成されたものです。

### 主な事業内容

- 【子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります】
- ① 待機児童保育士確保対策
    - 民間保育施設の整備補助事業 …… 2億4,257万2千円
    - 保育士等奨学金返還支援事業費補助金 …… 480万円
    - 潜在保育士等就職支援給付金 …… 300万円
  - ② 学びの機会の確保と校内ウイングの充実
    - 校内ウイング環境整備事業 …… 357万円
    - フリースクール等民間施設利用者支援補助事業 …… 720万円
    - 学校施設の長寿命化改良及びトイレ改修事業 …… 50億113万5千円
    - 中学校体育館空調設備設置事業 …… 6億1,853万9千円
  - ③ 認知症施策の推進
    - 認知症安心サポート事業 …… 249万5千円
    - 認知症普及啓発事業 …… 103万3千円
- 【自然・歴史・文化・スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創ります】
- ① わたSHIGA輝く国スポ・障スポ大会開催事業 …… 27億511万円
  - ② 大河ドラマレガシー事業
    - 「文学のまち大津」ブランディング強化事業 …… 令和7年度 59万5千円、令和8年度 1,815万円、500万円
    - 「おつつ文学フェスタ事業 …… 790万円
    - 「坂本城跡発掘調査成果啓発事業 …… 790万円
  - ③ 歴史を生かしたまちづくり
    - 「安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります」
      - 市役所庁舎の整備 …… 1,815万円
      - 庁舎整備基本計画の策定 …… 1,815万円
- 【暮らしを守る「物価高騰対策生活支援等」】
- ① 「おつつ」事業 …… 4億8,535万2千円
  - ② 学校給食費の値上がり分の公費負担 …… 2億1,779万2千円

市民一人当たりの予算額**426,520円**は  
こんなふうに使われます

民生費 47%	高齢者、障害者、子ども・子育ての支援などに	<b>198,681円</b>
総務費 14%	企画、市民協働、防災対策などに	<b>60,188円</b>
教育費 12%	小中学校・幼稚園の管理運営や施設整備などに	<b>50,408円</b>
土木費 8%	道路、公園、公営住宅の管理などに	<b>32,938円</b>
衛生費 8%	ごみ、し尿の処理や健康推進などに	<b>32,230円</b>
公債費 7%	借りたお金の返済に	<b>31,478円</b>
その他 4%	産業・観光の振興などに	<b>20,597円</b>

これからも市の財政に注目してね!

※金額は一般会計の歳出額を令和7年3月1日現在の人口343,206人で割り戻した額  
※表中の%は歳出全体に占める割合



# 大津市議会 2月通常会議

## 会派代表質問 質問項目 湖誠会 竹内 照夫 幹事長

- これまでの市政運営に対する評価と今後の方向性について
- 令和7年度の当初予算編成について
- 大津の魅力を生かしたにぎわい創出について
- こども関連施策及び福祉施策の推進について
- 本市における防災力の強化について

**Q** すべての人が安心して暮らし続けることができる「夢があふれるまち大津」の実現に向けて取り組まれた大津市総合計画第2期実行計画の成果について、どのように評価されているのか、見解を伺う。

**A** 本計画期間においては、妊婦健康診査の無料化と産婦健康診査の費用助成の開始や子ども医療費助成制度の拡充、学校夢づくりプロジェクトなどの実施による特色ある学校づくり、パークPFI方式での大津湖岸なぎさ公園市民プラザの再整備や中消防署の移転新築など、リーディングプロジェクトを中心に、未来への種まきを意識した取組を進めて来た。新型コロナウイルス感染症対策を優先せざるを得なかった面もあったが、コロナ禍でオンライン会議や電子図書館の運用開始などデジタル化の推進が図られ、各施策目標の達成状況からは、着実に進捗できたものと考えている。

**Q** 大津市行政改革プラン2025について、どのように取り組まれるお考えなのか、これまでに策定された行政改革プランから見直した点を踏まえて見解を伺う。

**A** 人口減少や少子高齢化の進展の中で課題となる人材確保と公共施設の老朽化への対策として、「スマート自治体の推進」と「公共施設マネジメントの推進」の2つの取組方針について、重点的に新たな項目を設定している。「スマート自治体の推進」では、業務の効率化や利便性の向上とともに市役所新庁舎の整備を見据えた「文書削減の推進」や「書かない窓口の推進」といった取組を、「公共施設マネジメントの推進」では、「プールや勤労福祉センターの在り方検討」など具体的な施設に関する取組を掲げ、引き続き全体最適による行財政改革を進めていく。

**Q** 令和7年4月から新たに設置する「こども未来部」と「健康福祉部」について、組織再編に伴い、今後どのように庁内連携を図り、施策を推進していかれるのか、また、それによりどのような効果を想定されているのか、見解を伺う。

**A** 新たに設置する「こども未来部」にこども総合支援局を設置し、妊娠期から学齢期までの情報を共有するためのシステムの稼働や、保護者が子どもに適した支援体制を選択できる療育・保育の環境整備、困難な状況にある子どもや保護者を早期に支援できるよう、母子保健機能と児童福祉機能の一体的な運営に取り組むこととしている。専門職を集中的に配置し、関係する所属が情報を一元的に把握することで、これまで以上に当事者に寄り添い、継続した伴走支援ができるものと考えている。また、「健康福祉部」においては、障害分野と介護分野の指導監査業務の一元化を図るとともに、生活習慣病予防と介護予防の効果的な取組などを進めていく。

## 2月通常会議一般質問

質問、答弁は一部抜粋です。詳しくは大津市議会ホームページをご覧ください。※質問順に掲載しています。



葉月 陽 議員

### 本市におけるがん対策の推進について

**Q** 第2期大津市がん対策推進基本計画策定に係る市民・事業所意識調査から見えた課題と結果を踏まえて、どのように次期計画に生かされたのか。また、大津市のがん検診受診率向上のため「SIB/PFS事業」の導入や、その他の取組について、考えを伺う。

**A** 事業所や保険者と連携したがん対策事業を推進し、がん予防や検診の受診促進に取り組んだ事業所が増加したと評価している。市民意識調査では、がんになる要因を知らない人が多く、症状がないため検診の必要性を感じない人が多いという課題があった。次期計画では、がんに関する知識の普及や検診受診率向上のための取組を進める。また、成果連動型委託契約(PFS事業)の導入は考えていないが、受診勧奨の対象年齢拡大や休日検診の実施など、受診しやすい環境の整備に取り組む。



福永 英晶 議員

### 家族介護者への支援に関する取組と重層的支援体制整備事業について

**Q** 重層的支援体制整備事業について、現在の取組状況や課題、本格実施に向けての今後の予定について伺う。

**A** 様々な課題を抱える世帯に対し、重層的支援推進室が中心となり、関係機関との会議で情報共有や役割分担を行い、支援を実施している。長期化するひきこもりの方には、アウトリーチで信頼関係を築き、意向に沿った支援につなげている。地域での居場所確保が課題であり、サロン運営者等に事業への理解を求めている。令和8年度の本格実施に向け、事業の検証・評価を進め、高齢・障害・こども・生活困窮の各分野で、年齢や障害種別に関わらず対象者を広く受け入れていただくよう取組を進めていく。

※他に1項目の質問あり。



川口 正徳 議員

### 「大戸川ダム」関連事業としての地域振興対策について

**Q** 工事用道路など大戸川ダム本体工事の実施に向けた準備工事が令和7年度から着手されるが、ダム建設関連事業としての地域振興対策については、本体工事と両輪事業として取り組む必要がある。大津市として、地域とともに地域振興対策事業に取り組むべきと考えるが、具体的な取り組みについて、スケジュールとともに伺う。

**A** 令和3年8月、淀川水系河川整備計画(変更)が策定されダム本体工事の実施が明記されて以降、大戸川ダム水源地域整備計画事業の進捗確認や事業実施に向けての諸課題等について、大戸川ダム工事事務所、滋賀県と協議を行うとともに、大戸川ダム対策協議会及び各地域協議会と地域振興に係る意見交換を行ってきた。今後についても、水源地域である牧町、大鳥居町それぞれの地域のニーズや実情などを踏まえ、ダム本体工事の進捗に合わせて、関係機関とともに地域振興に係る取組に向けた協議を行う。 ※他に2項目の質問あり。

## 行政視察報告

2月3日・4日に3つの項目について視察を実施しました。それぞれの内容は次の通りです。

### ヤングケアラーの支援の現況及び、家族介護者への支援に関する取組等について(こども家庭庁、厚生労働省)

こども家庭庁と厚生労働省を視察し、ヤングケアラーと家族介護者への支援について詳細な説明を受けました。こども家庭庁は、実態調査、ガイドライン作成、相談窓口設置など、ヤングケアラー支援体制の構築に取り組んでいます。家族介護者支援では、国や自治体、民間団体が相談・情報提供、研修、交流の場提供などを行っています。課題として学業や心身への負担、社会との隔絶などが挙げられ、今後は早期発見・早期支援、関係機関との連携強化が必要とされました。

視察を踏まえ、大津市では定期的な実態調査と、きめ細やかな支援体制構築を進めていくことが大切だと認識しました。特に、令和8年度実施予定の重層的支援体制整備事業において、今回の知見を活かし、市民にとってより良い事業となるよう努めます。



### 「大腸がん検診・精密検査受診率向上事業におけるソーシャル・インパクト・ボンド(SIB)導入モデル」について(東京都八王子市)

次期大津市がん対策推進基本計画に関する説明を受け、「大腸がん検診・精密検査受診率向上事業におけるSIB導入モデル」について詳細を伺いました。

大腸がんは死亡者数が近年急増していますが、便潜血検査による検診は安価かつ安全で、死亡リスクを大幅に減らせる有効な手段です。しかし、受診率が伸び悩んでいる現状に対し、八王子市では行政コストを抑えつつ未受診者対策と検診率向上を図るため、成果連動型契約(PFS)を用いたSIBモデルを導入しました。目標未達成時には支払いが発生しないため民間委託業者にはリスクがありますが、受診率向上に大きく貢献したとのこと。

大津市は精密検査受診率が高いものの、大腸がん検診事業を含め、市民の健康長寿のため八王子市のSIB、特にPFSモデルの導入を検討したいと感じました。

